

## 野木町避難所運営訓練を行いました！

8月21日～24日にかけて、町内の各指定避難所において、避難所運営訓練を行いました。

訓練では、備蓄品等の確認や感染症対策として、各指定避難所に応じた受付の設置場所の確認、パーティションの設置、発電機の操作の確認等を行いました。



## 災害時に備えて定期的に備品を見直しましょう

避難所の備蓄品には限りがあります。また、災害発生から数日は、普段通りに買い物ができないことが考えられます。ご自身やご家族の生活必需品を日頃から十分準備しておくことが大切です。生活必需品は家族構成によっても異なるので、いざという時に備えて、必要な物を再確認しておきましょう。

### 例えば…

#### 乳幼児

離乳食、粉ミルク、おむつ、おしりふき など

#### 妊婦

母子健康手帳、脱脂綿、ガーゼ、タオル、新生児用品 など

#### 高齢者

入れ歯、介護食、大人用おむつ など

#### 疾患のある方

主治医連絡先、持病薬お薬手帳、在宅医療用品 など

### 町の備蓄品の一部



ご自身やご家族に必要な物が避難所に備蓄されているとは限りません。必要な物は、ご自身で備蓄するようお願いします。

### 町消防団通常点検が行われます

火災の発生しやすい季節を迎えるにあたり、町消防団による通常点検を開催します。

時10月22日(日)8時30分～

所町総合運動公園多目的広場



### 防災行政無線テレホンサービス (自動音声応答装置)

0120-263208

上記の番号にお電話いただくと、防災行政無線の放送内容を音声メッセージで確認できます。※通話料はかかりません。



野木町長  
真瀬宏子

ひろ  
コラム  
No.139

### ふりかえると

私が町長に就任した頃は、様々な課題が山積で、ずいぶん思案に暮れたものでした。その中でも「煉瓦窯の修復問題」は解決すべき大きなものの一つで、修復するか、そのまま放置するか、思案に暮れました。

そんな時、学生時代に先生に「栃木県では野木町にあるホフマン式煉瓦窯は重要で価値ある文化財だから心に留めておくように！いつか行ってみたいといい」と言われたことを思い出しました。煉瓦窯を実際に見ると、少しずつ壊れかかっていた。このままでは手遅れになる、早く修復しなければと思いました。

町議会も煉瓦窯保存基金の立ち上げに、全員が賛成してくれました。国や県の支援のもと、概算6億円の修復費用が掛かることもわかりました。その修復工事の間に、

3.11東日本大震災があり、煉瓦窯の一部がゆがみましたが、修理中だったので補修工事もできたので、今思ってもよかったと思います。

修復工事が終わって、交流センター「ホフマン館」もオープンしてからというもの煉瓦窯は、野木町の観光スポットのようになってきました。最近では渡良瀬遊水地へのサイクリングや自然観察の中継地にもなっています。ちょっと休憩にはこびとカフェもいいですね。乗馬クラブ「クレイン」もいい雰囲気を作っています。雰囲気と言えば、メタセコイヤの並木道やバラ、紫陽花の花々もいい雰囲気です。焼き物体験もできます。

煉瓦窯が蘇って、みんな周りも元気になりました。ふりかえると感慨深いです。

